

## 2026 年度入学式 式辞

新入生の皆さん、神奈川大学そして神奈川大学大学院へのご入学、誠におめでとうございます。皆さんはもちろん、ご家族およびご関係の皆様のお喜びもひとしおのことと存じます。神奈川大学のすべての教職員一同、そしてすべての在学生一同は、新入生の皆さんを心より歓迎いたします。

さて、本学は 2028 年に創立 100 周年という大きな節目を迎えます。皆さんが入学された神奈川大学はどのような大学なのか、ここで改めてご紹介したいと思います。神奈川大学は、1928 年に横浜・桜木町の地で米田吉盛先生が創立した「横浜学院」をその原点としています。

創立当初から、地元の造船所やドックで働く若者たちの「もっと学びたい」「もっと成長したい」という思いに応えるため、門戸を開いてきました。この「学ぶ意志を持つすべての人を応援する」という姿勢は、今も神奈川大学の根幹にあります。

新入生の皆さんには、この節目を迎える大学の一員となることを、ぜひ心に留めておいていただきたいと思います。

また、本学が大切にしてきた教育理念の柱には、米田先生の言葉「教育は人を造るにあり」があります。

この言葉を現代的に言い換えるならば、「学ぶ意志を持つすべての人の成長を教育によって応援する」ということであり、その姿勢は、大学の創立当初から現在に至るまで大学の根幹にしっかりと息づいています。

さらに本学には、その理念のもと、「質実剛健」「積極進取」「中正堅実」という三つの建学の精神が掲げられています。

「質実剛健」とは、飾り気のない誠実さ、そして堅実で力強く生きる姿勢を意味します。本学でこれから培う知識と経験を礎に、どのような困難に直面しても、揺るがぬ信念と自信をもって歩んでいただきたいと願っています。

「積極進取」は、挑戦を恐れず、新たなことに自ら進んで取り組む姿勢を表しています。今後は、さらに関心や好奇心を持ち続け、自分自身の可能性を広げて行ってください。

そして最後に「中正堅実」とは、一見抽象的に思えますが、非常に深い意味を持っています。偏らず流されず、自らの軸を持ちながらも他者と調和し、柔軟に世界と向き合っていく姿勢を表しています。

以上、「質実剛健」「積極進取」「中正堅実」という三つの建学の精神は、正解が一つではない混迷の時代を生きる皆さんにとって、時に暗闇を照らす光の道標となり得るものではないでしょうか。

さて、皆さんはこういった建学の精神と教育理念のもと、これからの学生生活や大学院生としての生活を送ることになります。現在、本学は横浜の地において、白楽にある「横浜キャンパス」と、みなとみらいにある「みなとみらいキャンパス」の、2キャンパス制をとっています。新入生の皆様は、入学する学部あるいは研究科のあるキャンパスで過ごす時間が長くなると思いますが、ぜひもう一つのキャンパスにも足を運んでいただきたいと思います。

横浜キャンパスには31号館までの施設が広がり、緑豊かで落ち着いた学修環境が整えられています。このたび13号館の体育館もリニューアルされ、教育・研究のみならず、課外活動や交流の場としても、より充実した環境となりました。

正門または東門から奥へと続くキャンパスには、図書館や数多くの講義棟などの施設が配置されており、日々の学びと学生生活が一体となった空間が広がっています。ぜひ長い歴史の中で多くの学生を育ててきた横浜キャンパスに足を運び、その広がりや雰囲気を感じてみてください。

また、みなとみらいキャンパスは本学発祥の地である桜木町にほど近い場所であり、ビル型のキャンパスとなっています。1階には多様な言語・文化に触れられる「グローバルラウンジ」、3Dプリンターやレーザー加工機などデジタル工作機器が操作できる「ファ

ブラボ」があります。また、講義以外の時間には、学食だけでなく、7階や21階の屋外テラスなどで自由に学習することができます。さらに、大学の周りを歩けば、近隣企業のビルが軒を連ね、また世界とつながる文化的な場所が数多あります。

両キャンパスは乗り換えなしの電車でわずか4、5駅ほどと近く、気軽に行き来することができます。ぜひ学生証を持参のうえ、両キャンパスを訪れ、それぞれの魅力を体感してみてください。

横浜の中心地にある両キャンパスで学ぶことになる新入生の皆さんには、ここで少し考えていただきたいことがあります。それは、いま皆さんが置かれている環境が、世界的に見ていかに恵まれたものであるかについてです。

日本という社会は、ドローン兵器が飛び交うこともなく、ミサイルが飛んでくることもない平和な社会です。世界を見渡すと、国際紛争や人権蹂躪、法の支配の崩壊等、解難な課題が山積しています。

皆さんがこの日本において、落ち着いて大学で学ぶことができるという事実は、決して当たり前のものではなく、先人たちの努力と犠牲により築かれてきた歴史の積み重ねの上に成り立っているものなのです。

そのような恵まれた環境にあるからこそ、皆さんにはその価値をしっかりと自覚し、日々の学びの一つひとつを大切にしていきたいと思います。

本学は、YOKOHAMA を舞台に学生を最も成長させる大学として、皆さん一人ひとりの可能性を最大限に引き出したいと思っています。

大学での時間は、自らの可能性を広げるかけがえのない機会です。どうか主体的に学び、挑戦を重ね、自らの未来を切り拓いていってください。

最後になりますが、新入生の皆さんが、「人を造る」大学である我が神奈川大学において、おおいに学び、また研究に励み、実り多い学生・大学院生生活を過ごされることにより、大きく成長されますことを、心より祈念し、私からの式辞といたします。

2026年4月3日

神奈川大学長 戸田龍介